

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組
 使用教科書： （ 詳説「世界史探究」山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 冷戦の展開1 【知識及び技能】 冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ・冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	B 単元 冷戦の展開2 【知識及び技能】 西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。 ・スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 【思考・判断・表現】 当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オイルショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 冷戦の終結1 【知識及び技能】 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 1990年前後の各地の様子を写した画像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の終結について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。 ・ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 1990年前後の各地の様子を写した画像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8

1 学 期	D 単元 冷戦の終結2 【知識及び技能】 ゴルバチョフの改革がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 1990年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。 ・ゴルバチョフの改革が挫折した原因を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 ゴルバチョフの改革がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 1990年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D 単元 今日の世界1 【知識及び技能】 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。 ・冷戦終結後の東アジア諸国の変化を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 【思考・判断・表現】 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	D 単元 今日の世界2 【知識及び技能】 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	今日の東南アジア・南アジア諸国においていかなる政治的・経済的変化が生じているのかを理解する。 冷戦終結後のアフリカが有する課題と可能性を多面的・多角的に考察し表現する。 ・冷戦終結後も続く地域・民族紛争の背景や経緯を理解する。 ・経済における世界の一体化の経緯を理解する。 ・21世紀初めにアメリカ合衆国がおこなった戦争の背景や経緯を理解する。 ・今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 【思考・判断・表現】 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	
3 学 期	D 単元 文明の誕生 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・西アジアの身分・階級・王権・宗教に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする。 ・西アジアにおいて多様な身分・階級が生まれた背景および宗教と王権の関係について考察する。	【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	D 単元 古代オリエン特文明とその周辺 【知識及び技能】 オリエン特の大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 オリエン特文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	・自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。 ・おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。	【知識及び技能】 オリエン特の大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 オリエン特文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
合計							70